
施工説明書・使用上の注意点

床材・無垢フローリング施工上の注意点

【施工前に必ずお読みください】

無垢フローリングは天然木の性質上、保管状況、使用環境によって、反り、割れ、捻りを起こす場合があります。又、空気中の水分、床下からの湿度の影響で「膨張」「収縮」などが生じ施工状況によっては、不都合をを起こす場合があります。

お施主様の快適な暮らしのために、保管、施工及びメンテナンスには必ずこの注意事項をよくお読み頂き、無垢材の特徴をよくご理解の上、施工してください。

保管上の注意

- ・水がかかりやすい場所、湿気の強い場所、直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- ・保管には、水平な場所に同じ高さのリングを置いて水平に保管してください。
- ・シュリンク梱包の商品は紫外線等で商品が焼けますので必ずビニールシートなどで覆ってください。

施工前に確認

- ・広葉樹は天然木の性質上、膨張、収縮が起きるのを防ぐために必ず開梱した状態で放置し、施工現場の環境に十分馴染ませてください。
- ・針葉樹は性質上、開梱後長時間放置しますと、施工現場の環境により反り、割れ、捻り等発生する場合がありますので、ご注意ください。
- ・当製品は内装用ですので、外装使用にはご遠慮ください。
- ・床暖房には、当社推奨の床暖房用フローリングをご使用ください。
- ・換気口は充分を確認ください。床下の換気が充分でない場合は、施工後に「暴れ」「突き上げ」「床鳴り」等発生する場合があります。
- ・雨の降りこみなどにより、下地材が濡れたり、施工後の床材が濡れたりせぬようサッシ部分等開口部の取り付け後に施工してください。

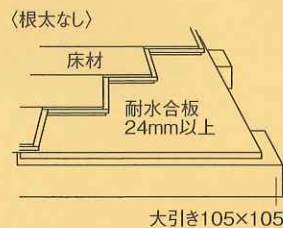
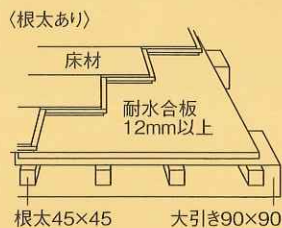
下地施工

根太有り

- ・大引きは90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- ・大引き間隔は3尺(909mm)、根太は1尺(303mm)とし、レベル(水平)を出して施工してください。
※乾燥材を使用しないと施工後振れたり、痩せたりして踏みなりの原因となります。
※根太の厚みが一定でないとも根太高に差が生じ、踏みなりの原因となります。
- ・必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。
又捨て貼り合板同士の間は2～3mmあけて施工してください。
- ・床下の湿気が多い場合は、0.1mm厚以上の防湿シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工するかもしくは、つなぎ目の部分にコーキングをして、テーピングをし床下からの湿気を防いでください。
※床下のコンクリートは表面が乾いていても、内部には水分を含んでおりますので御注意ください。

根太なし

- ・大引きは105mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- ・大引き間隔は3尺(909mm)とし、レベル(水平)を出して施工してください。
- ・必ず24mm以上の耐水合板を使用してください。
- ・床下の湿気が多い場合は、0.1mm厚以上の防湿シートを根太と捨て貼り合板の間にしき込んで施工するかもしくは、つなぎ目の部分にコーキングをして、テーピングをし床下からの湿気を防いでください。



防湿処理

フローリングの膨らみを防ぐため、床下のコンクリートは含水率10%以下になるまで十分に乾燥させ、風通しを良くしてください。また、必ず耐水合板の下に防湿シートをしき込んでください。さらに、下地合板が湿気を含んでいないことを確認してください。



仮並べ

- ・天然木ですので、色合い、木目など一枚一枚異なります。貼り始める前に仮並べをし、色合い、木柄のバランスを確認し、又、一枚一枚加工不良、傷がないか、塗装品の場合、塗装むらがらないか品質を確認いただいた上で施工してください。
※加工不良、塗装不良などお気づきの点があれば、貼らずにご相談ください。
※針葉樹の場合多少の欠点(ヤニ筋、ヤニツボ、死節、黒節、節割れ、欠け、軽微な割れなど)が含まれる可能性があります。

割り付け

- ・極端に小幅材がこないよう、貼り込み前に割り付けを行ってください。
- ・下地合板のジョイント部とフローリングのジョイント部が重ならないようにしてください。

商品ならびに施工上ご不明な点は、 弊社または取り扱い店までご連絡下さい

貼り込み

広葉樹フローリング

- ・施工は必ず接着剤とフロア用ステーブルの併用で行ってください。接着剤はF☆☆☆☆認定の1液型ウレタン樹脂系を使用してください。
- ※関連推奨接着剤 (株)オーシカ セレクティ UR-20, UR-21
- ・水溶性接着剤は床鳴りの原因となるため、使用しないでください。
- ・サネやその近隣部には接着剤を使用しないでください。
- ・サネを強く叩き込み過ぎますと、無垢材の性質上、反り、突き上げの原因となります。必ず同梱包の「スペーサー」を使ってジョイント部にクリアランスを取ってください。また壁際は5～10mm程度隙間をあけてください。

◆専用接着剤を床材裏面に塗布
(広葉樹フローリングは必須)



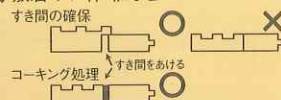
(床材裏面)
接着剤の塗布を誤ると施工後の反り、突き上げ、あばれ等の原因になります。

◆接着剤が床表面についたら



すぐに拭く
接着剤は硬化すると取れません。

◆敷居・ドア枠・框など



※はき出し窓サッシへの納め、又敷居(同面)納めの場合は必ずクリアランスをとり、コーキング処理してください。

針葉樹フローリング

- ・オスザネをメスザネにさし込み、隙間を設けずに貼り上げてください。
- ・接着剤を併用される場合F☆☆☆☆認定の1液型ウレタン樹脂系を使用してください。

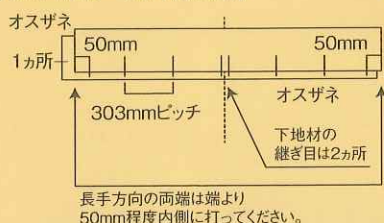
床暖房用フローリング

- ・オスザネをメスザネにしっかりさし込み、隙間を設けずに貼り上げてください。
- ・切り使いのある場合、切断した小口面にウレタン系樹脂塗料を塗布していただきますと「収縮」「膨張」の軽減になります。
- ・床暖房使用中に水分が放出して収縮し1～2mm程度の隙間が生じることがありますが、夏の休止時には吸湿して膨張し、ある程度目立たなくなります。
- ※床暖の設定温度や使用時間によっては低温やけどする場合がありますので、十分ご注意ください。

フロア用ステーブルで固定

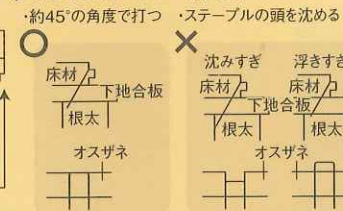
一般用

◆フロア用ステーブルを打つ箇所



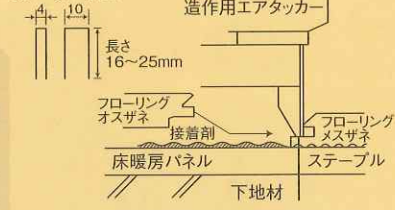
長手方向の両端は端より50mm程度内側に打ってください。

◆フロア用ステーブルの打ち方



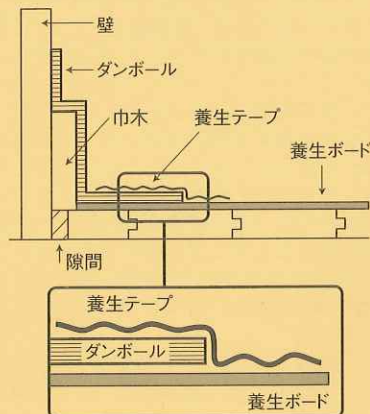
床暖房用

ステーブルサイズ



養生

- ・施工後はすみやかに、ごみをきれいに取り除いて、細かいチリなど完全に除去してください。床材表面に細かい傷ができるのを防ぎます。きれいに掃除をしたあと、表面保護のために養生シート、または養生ボードにて全面覆ってください。
- ※養生テープを直接無垢フローリングに貼らないで下さい。粘着テープによって塗装がはがれたり、粘着剤が材に付着し汚れや変色の原因となる場合があります。又、木目に石膏ボードの粉がはいらないよう注意してください。
- ・壁面が立ち上がりましたら、商品のダンボールなどを利用して、壁面に養生テープを貼ってください。
- ※右図を参考にしてください。
- ・養生テープをやむをえずフローリングに直接貼る場合は、粘着力の弱いものを使用し、できるだけ短期間にはがしてください。
- ※天然木のフローリングは施工後も呼吸をしています。工事期間中の養生後は非常に厳しい環境の中におります。
- お引渡しの前に傷、反り、突き上げのないよう正しい施工を心がけましょう！



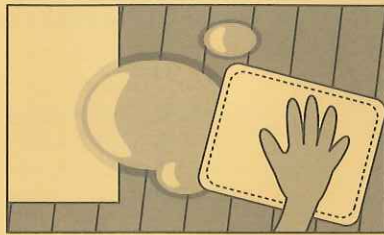
日常の注意ポイントと知識

【ご使用前に必ずお読みください】

雨漏れ、水漏れ

無垢フローリングに水は大敵です。長時間の雨漏れ、水漏れは製品のシミ、汚れの原因となりますので速やかにふき取ってください。

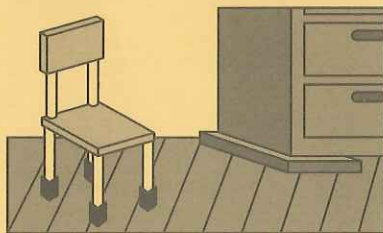
特に自然オイル塗装品は水漏れにより変色しやすいので注意してください。またキッチン、洗面所など水をよく使用する場所には、水切りマットを敷いてご使用下さい。



重量物、家具（キャスター付きなど）

冷蔵庫、ピアノなど重量物の脚部には必ず保護板などで床板にかかる重量を分散し、キズやへこみ防止をしてください。又プラスチックなどのキャスター付きのイスやワゴンを使用されますと床材表面を傷つけますので、もし使用される場合は必ずカーペットなどを敷いて表面保護してください。テーブルやイスを引きずりますと床材表面が損傷します。脚部にフェルト（布）やゴムキャップなどをかぶせて床材表面を保護してください。

※ゴムキャップには種類により床材を汚染するものがありますのでご注意ください。
※本カタログに掲載している床材は上履用ですので店舗など土足での使用は避けてください。



メンテナンス

・日常のお手入れは、化学雑巾もしくは、乾いた柔らかい布でのから拭きで十分です。水を使わないようにお手入れしてください。

・ワックス掛けは3～6ヶ月に1回程度行ってください。ワックス掛けの際はフローリング表面に薄くムラなく均一に塗って下さい。ワックスをフローリング表面に多量に塗布すると製品の品質を損なうことがありますので絶対しないでください。又、ワックス施工後表面に低温度の水などをこぼしますと白化する場合がありますので、その場合はすぐ拭き取ってください。

◎ウレタン塗装品…木質フローリング用水性樹脂ワックス

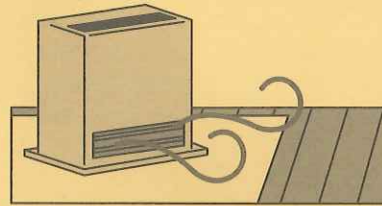
◎自然塗装品…各自然塗装メーカー専用ワックス

◎無塗装品…表面保護のためできれば白木用ワックス、柿渋、蜜ろうなどで保護していただくことをおすすめします。

熱

ホットカーペット、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は、目隙や表面割れを引き起こすことがありますので避けてください。これらを使用される場合は断熱性の高いマットを敷いてご使用ください。

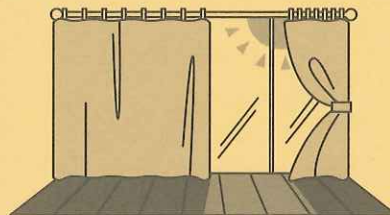
又、床暖房用フローリングは絶対にカーペットや絨毯を敷いたり、家具を置いたりしないでください。熱ごもりにより目隙や色やけ、形状変化が生じます、また電気カーペット、こたつ、温風ヒーター、ストーブなどを併用しないようお願い致します。



直射日光

天然木のため色合い、木目など一枚一枚異なります。製品カタログなど印刷物との間に隔たりがある場合もありますので、ご了承ください。

又、木材は天然光線中の可視光線成分や紫外線成分を吸収して自らも変色していきます。その結果として、光の当たった部分、そうでない部分で色が異なる状態が生じることもありますので、天然木の特徴としてご理解ください。直射日光が当たる場合は、なるべくカーテンやブラインドなどで日差しの調整をおすすめします。日焼けによる変色や割れ防止となります。



【汚れた時のお手入れ、ウレタン塗装品に限る】

汚れの種類によって処理方法が若干異なりますが、最初から拭きで除去を試み、それでも落ちない時は下記のようにお手入れ願います。

		お手入れの方法
A	・油	台所の中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使い、よく絞った雑巾で拭いてください。汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
	・ソース ・マヨネーズ	
B	・ケチャップ	布にベンジンをつけて手早く拭いてください。汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
	・クレヨン	
	・水性フェルトペン	
C	・油性フェルトペン	Bと同様に、布にベンジンをつけて手早く拭いてください。汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚した直後であれば、消しゴムで落ちる場合もあります。